

大月っ子

大月小学校だより

令和6年6月18日（火）NO. 7

目指す子ども像：『 自分が好き・友達が好き・大月が好き 』

野山は新緑から万緑へと変わっていく季節となつてまいりました。6月9日に四国地方も例年より4日遅く梅雨入りとなりました。さて、月日の経つのは早いもので、令和6年度の1学期も折り返し地点までできました。子ども達はスポーツテストや水泳、学習と毎日頑張っています。学ぶべきことを学び、しっかりとした足跡を残して1学期を終了してほしいと思います。大月小学校の子ども達と教職員一同、まずは1学期の終業式まで頑張っていきます。

【三遊亭歌彦さん来る！】

6月5日（水）に大月小学校に落語家が来てくれました。体育館の舞台を高座に見立て落語クイズや落語には必ず「おち」があることなど教えてくれ、落語を披露してくれました。三遊亭歌彦さんは、高知県出身で6月に高知県の学校を訪問していると話していました。落語家に会うのも落語を聞くのも初めての子が多く、どんな反応があるかと思っていました。予想以上の大反響で会場の体育館は、子ども達の笑い声と笑顔がいっぱいでした。大月っ子の創造する力や話を聴く力、反応する力に感心しました。

《5年児童の感想より》

・落語を聞くのは、初めてでした。おもしろいと思ったのは、はじめの「草かった」と「さぎ」の問題のところと、落語の覚えの悪い子と親のやり取りがすごくおもしろくて、今年で一番笑ったと思います。落語を聞いて想像する力と聞く力がつきました。ありがとうございました。（ ）

・落語を聞くのは2回目です。おもしろいと思ったのは、一人で何役もして声を変えてすごいなあと思いました。落語は自分で想像するものだ分かりました。ぼくも歌彦さんみたいなおもしろい人、元気な人になりたいと思いました。ありがとうございました。（ ）

・私は落語を聞くのは初めてです。おもしろいと思ったのは、牛のおしりに札をはろうとしたところです。落語を聞いて、想像する力がつきました。私は、落語はどんな言葉なのかと思っていました。三遊亭歌彦さんのお話は分かりやすかったです。また、来てください。（ ）

・落語を初めて聞いたけど全部おもしろかったです。クイズもおもしろかったです。想像するのは難しかったです。うどんとそばのズルズルの食べ方の違いがすごかったです。楽しかったので、また来てほしいです。（ ）



6月15日（土）の道徳参観日には、たくさんの保護者の方々にておいでいただきまして、本当にありがとうございました。

大月小学校では、毎年、高知大学の森有希教授に講師として来ていただき、全教員が道徳教育について研修をしています。

1年生は、他のきまりにも目を向けた内容、2年生から6年生とひまわり学級は、保護者を巻き込んで一緒に議論という地域ぐるみの道徳授業に取り組みました。上手いかわい部分もあったと思いますが、親子で一緒に道徳の授業をする体験も1年に1度くらいは、大切な時間だったのではないのでしょうか。

その後の講演会や説明会にも参加していただきまして感謝しています。講演はいかがでしたか。大月町の食材を生かして活躍する松田さんのお話は、大月小中の目指す子どもの姿『大月が好きで、その魅力を発信でき、ふるさとや自分に誇りを持った生徒』に繋がるものだと思います。

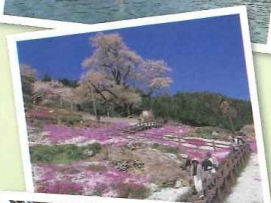
わたしたちの心を 育てくれる ふるさと。

あなたが 今、住んでいるところが ふるさとです。

ふるさととは、一生 あなたを はげまし続けてくれます。






わたしたちのふるさとに住む
ひと、せい、かつ、し、ぜん、ぶん、か
人びと、生活、自然や文化、
それらはすべて、
わたしのたからもの。

4

我がふるさとを
語る

C 集団や社会との関わりに関すること
かた

